

社協だより ⑥



木山仮設団地での花植えの様子

もくじ

- 地域支え合いセンター…………… P 2
- 赤十字運動について…………… P 3
- シルバー人材センター…………… p 3
- 社協情報…………… P 4～P 5
 - ・ ひきこもり相談窓口
 - ・ もの忘れ相談室
 - ・ コミュニティソーシャルワーカー (CSW)
 - ・ 心配ごと相談
 - ・ 地域福祉塾
 - ・ 地域サロン応援隊養成講座
- 地域サロン／地域を支えるふくしの輪…………… P 6

地域支え合いセンター

花植え

4月8日(金) 和ごころの皆さんが木山仮設団地東集会所の花壇に花植えをされました。普段は週に1回小物作りの活動がされています。「思い出いっばいでお世話をなつた木山仮設団地に何か恩返しをしたい」「もうすぐ6年経つのでキレイにして迎えたい」と皆さん汗をかきながら作業されました。

4月14日に追悼イベントに来られた方からも「花があると心が和むね」といった声が聞かれました。



地域の方のご紹介

今回は、町外のみなし仮設住宅から益城町へ自宅再建をされた森川重光さんをご紹介します。森川さんは、2月にみなし仮設住宅から元々の生活地であった杉堂へ戻って来られました。

みなし仮設住宅での生活はいかがでしたか？

西原村のアパートに住んでいました。若い家族が多く、子どもの誕生や成長を見守る程の付き合いができました。自分が救急搬送された時も、みんな心配してくれ、とてもよい環境で生活できました。



杉堂に戻ってからはどうですか？

地元に戻ってきて知った顔ばかりで安心します。週に3回程散歩をしており、お勤めの場所の1つに潮井自然公園があります。整備の工事が始まり今から完成が楽しみです。他には頭の体操で株をするのが日課になっています。杉堂は人も環境もとても良く住みやすい場所ですよ。



赤十字運動について

赤十字の歴史

今回は5月から始まった赤十字運動について、その歴史と熊本県支部の主な活動についてご紹介します。

日本赤十字社は、1877年（明治10年）の西南戦争の最中に設立された「博愛社」という救護団体が、その前身となつていきます。日本赤十字社創設者の佐野常民が身分に関係なく患者は平等に診るのだという思想を具体化したものが日本赤十字社です。

熊本が赤十字発祥の地とされていることと、5月に活動資金の募集を行うのはこのためです。

日本赤十字社熊本県支部の活動

国内災害救護活動

全国に常備救護班体制を整え、被災地ではいち早く医療救護活動を行います。定期的な訓練・研修や救護物資を備蓄しています。

国際活動

世界各地で頻発する自然災害や紛争に対し、救護要員を派遣するとともに、発展途上国の開発協力などの支援を行っています。



救急法等の講習

人々の生命と健康を守るため、赤十字講習会を行っています。

赤十字奉仕団

地域奉仕団、青年奉仕団、特殊奉仕団があり、赤十字防災ボランティアとともに赤十字の事業・活動を支えています。

青少年赤十字

園児から高校生を対象に、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」を実践目標として、子どもたちの「気つき・考え・実行する」力をはぐくみます。

看護師養成

災害時に、看護専門職として役割を發揮し、地域医療の担い手としても活動できるように、赤十字精神と最先端の看護技術を身につけた人材を育成しています。

赤十字思想の普及

人のいのちと健康、尊厳を守る活動をおして、人が生まれながらもっている、思いやりの心やボランティア精神を掘り起こし、ひいては戦争のない平和な世界を創生します。

日本赤十字社では、人道・博愛の精神のもと、このような事業を展開しています。

シルバー人材センター

安全委員委嘱及び安全委員会

4月22日（金）に安全委員委嘱状交付式及び安全委員会を開催しました。

安全委員で構成された安全委員会では、無事故就業を目標に作業現場の安全確認のため、毎月安全パトロールを実施しています。また、会員一人ひとりが安全に対する意識をより一層高めるため、前年度から「安全マニュアル」を作成し、全会員へ周知配布しています。

今年度も安全委員6名（うち1名欠席）に委嘱状を交付し、前安全委員の活動状況の共有と安全パトロール実施時の注意事項等を確認しました。今年度も安全就業を第一に活動していきます。



写真右から、山本美登司さん（安全委員長）、山本紀昭さん（副委員長）、山本修さん、日野九州男さん、松本職員

入会希望の方へ

現在、当センターでは、事前予約制による個別入会説明会を実施しています。入会をご希望の方や活動について詳しく知りたい方は事前にご連絡ください。

問 益城町シルバー人材センター

☎ 096-289-6092

場所 木山仮設団地北集会所内事務所

（益城町木山 866-1）

社 協 情 報

当協議会で行っているイベントや相談日等を掲載しています。詳細は、お気軽にお尋ねください。

心配ごと相談

日常生活のちょっとした心配ごとに対して相談を受け付けています。

個別面談以外でも、電話での相談も受け付けています。

日時 毎週水曜日

10時から12時、13時から15時

電話 080・8427・8981

(開設時間のみ)

場所 役場仮設庁舎1階相談室

※相談員は左記の表をご覧ください。変更になる場合もあります。

問 地域支え合いセンター

☎ 289・6092

289・6090

社

協

情

報

ひきこもり相談窓口

「ひきこもり」「べ困り」とはありませんか

「ひきこもり」は、誰にでも起こりえます。特別なことでも恥ずかしいことでもありません。悩みや苦しみを抱える前に「お悩み」や「気になっていること」など、あなたのタイミングで気軽にご相談ください。ご家族からの相談やお知り合いの方からの相談もお受けします。どのような制度があるかのお尋ねだけでも構いません。

相談は、随時受け付けていますのでお気軽にご相談ください。

問 地域福祉課

☎ 214・5566

県ひきこもり地域支援センターゆるここ(☎ 386・1177)でも相談可能です。



もの忘れ相談室

認知症に関する悩みや不安を一緒に考え、医療機関や介護サービス等、必要な機関にご紹介する相談室を開設しています。また、介護に対する悩み相談も受け付けています。

相談日 6月21日(火)

13時30分から 14時30分から

15時30分から

場所 役場仮設庁舎1階会議室

※事前予約制です。

問 地域福祉課

☎ 214・5566



コミュニティソーシャルワーカー(CSW)

CSWは、どこに相談したらよいか分からない悩みごとや困りごとを受け止め、支援機関との連携や制度・サービスを活用しながら困りごとの解決に向けたお手伝いをしていきます。

ご相談は、高齢、障がい、子ども、生活困窮など分野の枠組みに捉われず、包括的に受け止めてご本人やご家族と困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

福祉に対する相談や暮らしの中での困りごととは、CSWへご相談ください。

問 地域支え合いセンター

☎ 289・6090



日程	専門相談員	相談員	
6月8日(水)	松尾英美 (司法書士)	森田俊彦 (人権擁護委員)	市川博幸 (民生児童委員)
6月15日(水)	松尾 一 (行政相談委員)	野口泰喜 (人権擁護委員)	田中次男 (民生児童委員)
6月22日(水)	橋場紀仁 (行政書士)	吉村静代 (消費生活相談員)	下田なおみ (民生児童委員)
6月29日(水)	松尾 一 (行政相談委員)		古閑和子 (民生児童委員)
7月6日(水)	松尾英美 (司法書士)		河原眞二 (民生児童委員)

地域福祉塾 受講生募集

超高齢社会において、地域で必要とされる活動や支援は様々です。町の実情等を知り、介護保険制度や福祉活動を学び地域の担い手として、これからの益城町の地域活動を一緒に考え、「あったらいいな～」を形にして、一緒に活動に取り組みませんか。

【募集内容】

※ コロナ禍の状況により延期や中止となる場合があります。

募集人数：15名程度

参加費：無料

場 所：益城町保健福祉センター「はびねす」工作室（益城町惣領 1470）
または益城町交流情報センター「ミナテラス」視聴覚室（益城町木山 236）

時 間：10時から12時まで（2時間程度）

対象者

- ・益城町在住の方 ・地域活動が可能な方
- ・自主活動等をお考えの方
- ・基本的には講座10まで出席可能な方

講座内容

- ・地域福祉について ・高齢者の地域見守り ・集いの場の必要性
- ・安心して暮らせる地域づくり（災害時の助け合い）
- ・介護保険制度 ・認知症 ・成年後見制度 ・お出かけ支援
- ・復興地域づくり ・活動体験

	日程
講座1	7月20日（水）
講座2	7月27日（水）
講座3	8月3日（水）
講座4	8月10日（水）
講座5	8月24日（水）
講座6	9月7日（水）
講座7	9月14日（水）
講座8	9月21日（水）
講座9	10月5日（水）
講座10	10月12日（水）

お問い合わせ

地域福祉課 ☎096-214-5566

地域サロン応援隊養成講座 受講生募集

隣近所の方とのつながりが希薄になっているこのご時世、子育て世代も高齢世代も一緒になって住み慣れた地域をもっとよくしていきませんか？

今回、各地区の公民館で行われている地域サロンでお手伝いをしてくださる「応援隊」を募集しています。自分たちの住んでいる地域のサロンを一緒に盛り立てていきませんか。

【募集内容】

※ コロナ禍の状況により延期や中止となる場合があります。

募集人数：20名

参加費：無料

場 所：益城町公民館飯野分館（益城町砥川 1735-1）
※ 7月7日（木）のみ益城町保健福祉センター「はびねす」

時 間：13時30分から15時

対象者

- ・益城町在住の方で、居住地の地域サロンで実践していただける方
- ・基本的に4回の講座と9月実施予定のフォローアップ講座に出席可能な方
- ・8月～9月に地域サロンに参加し、実践できる方



昨年度の講座の様子



お問い合わせ

地域福祉課 ☎096-214-5566

日程	内容
7月7日（木）	【講座1】講話「住民主体の地域サロンをつくる」
7月8日（金）	【講座2】道具を使わないレクと道具を使うレクの実践
7月15日（金）	【講座3】自己分析と対人援助
7月29日（金）	【講座4】実践とまとめ
9月30日（金）	フォローアップ講座

～つながる地域・住みよいまち～
地域サロン

地域サロンでは、地域で生活している高齢者や住民が気軽に集まり、介護予防に取り組むことで、閉じこもりの防止や見守り、また仲間づくりや社会参加を目的として活動されています。

◇下砥川サロン美守る会

場所：下砥川公民館 日時：毎月第4木曜日 10時～



◇蛭子町サロンよかばーい

場所：公民館きやま座 日時：毎月第2月曜日 13時30分～



◇川内田朝来サロン

場所：川内田公民館 日時：毎月第3金曜日 10時～



◇寺中アヤマメサロン

場所：寺中公民館 日時：毎月第4木曜日 13時30分～



地域を支えるふくしの輪

益城町子育て応援友の会 はっぴーエンジェル

「はっぴーエンジェル」は、助産師の経歴をお持ちの本田菜穂子代表を始め、益城の子育てを応援したい仲間が集まって令和3年11月に発足しました。子育て中のママやパパ、身近な家族をはじめ、地域社会の母乳育児への理解が深まり、ママたちが不安なくスムーズに母乳育児のスタートができるように「おっぱい育児を学ぶパパママ教室」を開催されています。

講座に参加したお母さんは「母乳がうまくいかず悩んでいた時にこの教室を知って、相談もしやすいし、実践しながら、今ではコツをつかんでスムーズに母乳育児ができるようになりました」と話してくださいました。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを支えている活動を紹介します。



講座は毎月第4日曜日。時間と場所は下記までご連絡ください。

☎ 090-1084-8982 (本田)

2022
6 月号
 (No.291)

発行 / 社会福祉法人 益城町社会福祉協議会 会長 西村 博則
 〒 861-2233 熊本県上益城郡益城町惣領 1 4 7 0
 ※益城町保健福祉センター (はびねす) 内
 T E L 096-214-5566 F A X 096-214-5567
 ホームページ <https://www.mashiki-shakyo.or.jp/>

